N　O	教　科	科　目　名	単　位　数	必修・選択の別
１１３ （２）	農　業	総 合 実 習	３／９ （３年次までの継　続 履修）	必履修
開講年次	**選択群**	**系　列**	**使　用　教　科　書　・　教　材**	
１	な　し	４分野ローテーション（草花）	総合実習テキスト	

目　標

・農業の基礎・基本を農場実習を通して学び、知識と技術を身に付ける。
・２、３年次の系列選択に向け、各系列（草花、野菜、造園）に関する知識と技能を身に付ける。
・農場での総合的な実習を通じて、作業の順序、組合せとその管理および技術の実践的な役割を体験的に理解し、草花の生育環境、生産、出荷などに関する実際的な技術を身に付ける。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
農業を総合的に捉え体系的系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元・作品名	学習内容	到達度目標
前期	花壇用草花の生産と管理 ○特別実習 当番実習	春から夏における草花管理 ・施肥 ・苗の移動・手入れ ・出荷準備 ・さし木・は種 ・かん水 （管理する草花） サルビア、ケイトウ、マリーゴールド、アゲラタム、メランポジウム、ベゴニア、ガザニア、ペチュニア、インパチェンス、ゼラニウム、エキザカム、観賞用トウガラシ、シクラメン、カランコエ、クンシラン	・種子の性質や大きさに合わせたは種、管理ができる。 ・時期に合わせ、適期にさし木、鉢上げ、かん水、施肥等の管理ができる。 ・除草、摘芯、わい化処理等の意義を理解し、適切に作業できる。 ・病害虫の特徴を理解し、安全に防除できる。 ・生産品を客観的に評価し、付加価値を高めることを考えて出荷準備ができる。
後期	鉢花の生産と管理 ○特別実習 当番実習	秋から冬における草花管理 ・栽培用土作り 土詰め は種 ・販売準備 ・出荷準備 ・かん水 （管理する草花） ハボタン、シネラリア、プリムラ、ガザニア、シクラメン、ベゴニア、パンジー、サルビア、アゲラタム、マリーゴールド、インパチェンス、コリウス、観賞用トウガラシ、エキザカム、メランポジウム	・種子の性質や大きさに合わせたは種、管理ができる。 ・時期に合わせ、適期に鉢上げ、かん水、施肥等の管理ができる。 ・除草、摘芯、わい化処理、などの意義を理解し、適切に作業できる。 ・病害虫の特徴を理解し、安全に防除できる。 ・生産品を客観的に評価し、付加価値を高めることを考えて出荷準備ができる。

取得可能な検定や資格

・日本農業技術検定　３級